

【会社名】 東京ガスネットワーク(株)東京西支店 環境への取組

〒190-0012 立川市曙町 3-6-13 (042-526-6125)

東京ガスグループは「事業活動を通じた社会課題の解決によって社会価値および財務価値を創出し、持続的な企業経営を行うことで、持続可能な社会の実現に貢献していくこと」をサステナビリティ推進の考え方としています。この考え方のもと、事業活動を通じてサステナビリティ上の重要課題に取組、SDGs の達成に幅広く貢献していくことを目指しています。

【サステナビリティ推進の考え方】



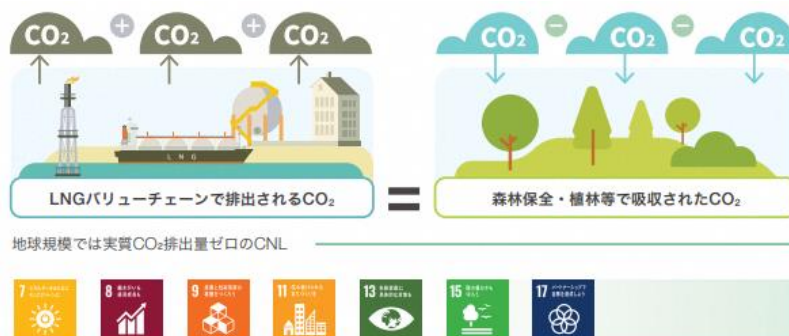
【サステナビリティ上の重要課題】

東京ガスグループが事業活動を通じて取組むサステナビリティ上の重要課題（マテリアリティ）		
社会・お客さま		東京ガスグループ(私たち)
■ 脱炭素社会への責任あるトランジション	■ エネルギーの安定供給	■ 多様な人材が活躍できる組織の実現
■ 地球環境の保全	■ 安全と防災の徹底・安心なまちづくりへの貢献	■ サプライチェーン全体における人権の尊重
	■ ウェルビーイングなくらしとコミュニティへの貢献	

【取組事例】

1. 天然ガスの高度利用

石炭・石油等から天然ガスへの燃料転換、高効率機器の導入、スマートエネルギーネットワークの高度化等、天然ガスによる低炭素化に加え、カーボンニュートラル LNG(以下、CNL)の普及も進めています。CNL は「LNG による CO₂ 排出」を「新興国等の環境保全プロジェクトでの CO₂ 削減」で相殺した、実質 CO₂ 排出量ゼロのガス体エネルギーです。環境保全プロジェクトは現地での雇用創出や生物多様性保全にも貢献します。このように、低・脱炭素化の社会的コスト抑制をはじめ、多様な価値を創出しながら CO₂ ネット・ゼロへの移行をリードしています。



2. 再生可能エネルギー電源の拡大

2030年の再生可能エネルギー電源取扱量目標を600万kWとしています。国内・海外において太陽光、風力、バイオマス等の電源開発を行い、2023年3月末には約163.3万kWの取扱量となりました。また、太陽光パネルや陸上風力の風車を設置する適地が少ない国内では、特に洋上風力に積極的に取り組んでおり、茨城県鹿島港における洋上風力発電事業の推進や、浮体式洋上風力開発に向けた技術獲得等を進めています。



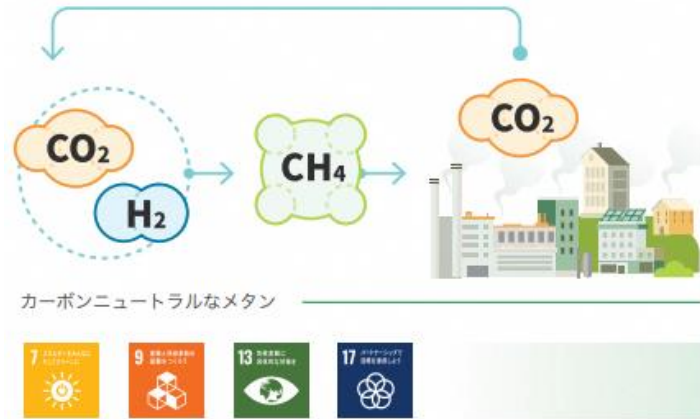
3. エネルギーセキュリティ

エネルギーの安定供給に向けて、安定的に安価で柔軟性のあるLNG調達に努める他、インフラの強靱化や、分散型エネルギーシステムの拡大等にも取り組んでいます。さらに、東京ガスネットワーク(株)では、地震や風水害等の災害に対しても過去の経験等を踏まえ、より万全な対策を進化させてきました。今後も「決してエネルギーを止めてはならない」という使命感のもと、お客さまの安心・安全を支え続けています。



4. メタネーション技術開発

メタネーションとは、水素と CO₂ から、都市ガスの主成分であるメタンを合成する技術。合成メタンは CO₂ を原料に使うため、燃焼させても大気中の CO₂ は増えません。また、既存の都市ガスインフラを用いて供給が可能なので、経済的に CO₂ ネット・ゼロを目指すことができます。現在メタネーション技術の社会実装に向けて実証試験を行っており、今後は地域のカーボンニュートラル化に向けた地産地消モデルの検討や、サプライチェーンの構築等につなげていきます。



5. 学校教育支援活動

東京ガスネットワーク(株)では、20年以上にわたり学校教育支援活動に取り組んでいます。社員による、エネルギーや環境に関する出前授業を実施する他、Web サイトには講義内容の動画も掲載し、2023年3月末時点での累計受講児童生徒数は118万人以上となりました。また先生方を対象とした教員向け研修会も実施し、学習プランに活用できる情報を、施設見学やグループワークを通じて提供することで、未来を担う子どもたちにエネルギーと環境の大切さを伝えています。



Webサイト「おどろき！なるほど！ガスワールド」

